



# 中間報告書

2019年度（第1四半期・第2四半期）

# 概況

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2019年度第2四半期連結累計期間の概要についてご報告申し上げます。

取締役会長 宮永 俊一

取締役社長 泉澤 清次

## 1. 経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、全体としては緩やかな回復が続いている一方、米中貿易摩擦による中国経済の減速、英国のEU離脱問題の動向など、景気下振れのリスクに留意すべき状況にあります。我が国経済は、世界経済の影響を受けて輸出を中心に弱さが長引いているものの緩やかに回復しました。

## 2. 経営成績の概要

このような中、当社グループの当第2四半期連結累計期間における受注高は1兆6,982億円、売上収益は1兆8,776億円、事業利益は743億円、税引前四半期利益は608億円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は292億円となりました。

当年度の中間配当金につきましては当第2四半期までの累計決算実績及び年間の業績見通しを考慮し、2019年10月31日の取締役会の決議により、1株につき75円の配当とし、2019年12月4日からお支払いを開始することとさせていただきます。

### 【連結受注高・売上収益・事業利益・親会社の所有者に帰属する四半期利益】

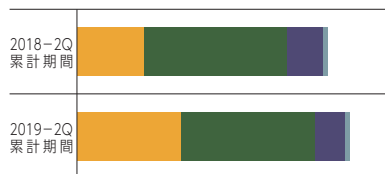
	2018年度 第2四半期累計期間 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)	2019年度 第2四半期累計期間 (2019年4月1日～ 2019年9月30日)	増減額
受注高	15,618億円	16,982億円	1,363億円
売上収益	18,720億円	18,776億円	55億円
事業利益	597億円	743億円	145億円
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	271億円	292億円	21億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

(注) 当社は2019年度第1四半期よりIFRS第16号「リース」を適用しております。2018年度第2四半期及び年度末の金額についても、当該会計基準の適用を反映した遡及適用後の数値を掲載しています。

# 部門別の概況

受注高 **16,982** 億円



(2018-2Q累計) (2019-2Q累計)

■ パワ	4,255億円	6,654億円
■ インダストリー&社会基盤	9,258億円	8,651億円
■ 航空・防衛・宇宙	2,255億円	1,923億円
■ その他	356億円	341億円
消去または共通	△ 508億円	△ 588億円

## ■ パワー

スチームパワーやGTCC（Gas Turbine Combined Cycle）等が増加したことなどにより、前年同四半期を上回った。

## ■ インダストリー&社会基盤

エンジニアリングに加え、工作機械やターボチャージャー等の量産品が減少したことなどにより、前年同四半期を下回った。

## ■ 航空・防衛・宇宙

民間航空機等が増加したものの、特殊車両等が減少したことにより、前年同四半期を下回った。

売上収益 **18,776** 億円



(2018-2Q累計) (2019-2Q累計)

■ パワ	6,808億円	7,079億円
■ インダストリー&社会基盤	8,982億円	8,746億円
■ 航空・防衛・宇宙	3,074億円	3,105億円
■ その他	342億円	336億円
消去または共通	△ 488億円	△ 491億円

## ■ パワー

原子力機器が減少したものの、スチームパワーやGTCC等が増加したことなどにより、前年同四半期を上回った。

## ■ インダストリー&社会基盤

製鉄機械等が増加したものの、エンジニアリング、商船等が減少したことにより、前年同四半期を下回った。

## ■ 航空・防衛・宇宙

防衛航空機や宇宙機器が減少したものの、民間航空機等が増加したことなどにより、前年同四半期を上回った。

事業利益 **743** 億円



(2018-2Q累計) (2019-2Q累計)

■ パワ	475億円	372億円
■ インダストリー&社会基盤	306億円	293億円
■ 航空・防衛・宇宙	△ 212億円	126億円
■ その他	30億円	78億円
消去または共通	△ 1億円	△ 127億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

## ■ パワー

GTCCが増加したものの、原子力機器の売上収益の減少等により、前年同四半期を下回った。

## ■ インダストリー&社会基盤

製鉄機械や商船で事業構造改善の効果等があったものの、ターボチャージャー等の量産品やエンジニアリングの減少等により、前年同四半期を下回った。

## ■ 航空・防衛・宇宙

民間航空機の売上収益の増加や前年同四半期で実施した固定資産減損を実施していないことなどにより、前年同四半期から改善した。

# 四半期連結決算の概要

(単位：億円、単位未満切捨て)

## 四半期連結財政状態計算書の要旨

	2018年度末 (2019年3月31日)	2019年度 第2四半期末 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>31,598</b>	<b>30,689</b>
現金及び現金同等物	2,832	2,240
営業債権及びその他の債権	7,174	5,775
その他の金融資産	251	240
契約資産	6,257	6,494
棚卸資産	7,398	8,045
南アフリカプロジェクトに係る補償資産	5,460	5,473
その他の流動資産	2,223	2,420
<b>非流動資産</b>	<b>20,804</b>	<b>21,184</b>
有形固定資産	7,772	7,987
のれん	1,211	1,274
無形資産	1,131	1,497
使用权資産	903	974
持分法で会計処理される投資	2,099	2,181
その他の金融資産	4,478	4,032
繰延税金資産	1,335	1,445
その他の非流動資産	1,873	1,790
<b>資産合計</b>	<b>52,403</b>	<b>51,874</b>

	2018年度末 (2019年3月31日)	2019年度 第2四半期末 (2019年9月30日)
<b>負債及び資本の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>25,967</b>	<b>26,063</b>
社債、借入金及びその他の金融負債	4,595	6,773
営業債務及びその他の債務	8,621	7,645
未払法人所得税	270	179
契約負債	8,752	8,315
引当金	2,154	1,802
その他の流動負債	1,572	1,346
<b>非流動負債</b>	<b>9,148</b>	<b>8,644</b>
社債、借入金及びその他の金融負債	6,372	5,809
繰延税金負債	40	66
退職給付に係る負債	1,541	1,575
引当金	475	460
その他の非流動負債	719	732
<b>負債合計</b>	<b>35,116</b>	<b>34,707</b>
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<b>14,115</b>	<b>13,971</b>
資本金	2,656	2,656
資本剰余金	1,853	1,975
自己株式	△55	△50
利益剰余金	8,692	8,790
その他の資本の構成要素	969	599
<b>非支配持分</b>	<b>3,171</b>	<b>3,194</b>
<b>資本合計</b>	<b>17,286</b>	<b>17,166</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>52,403</b>	<b>51,874</b>

## 四半期連結損益計算書の要旨

	2018年度 第2四半期累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	2019年度 第2四半期累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
<b>売上収益</b>	<b>18,720</b>	<b>18,776</b>
売上原価	15,259	15,313
<b>売上総利益</b>	<b>3,461</b>	<b>3,463</b>
販売費及び一般管理費	2,597	2,711
持分法による投資損益	82	94
その他の収益	146	108
その他の費用	495	210
<b>事業利益</b>	<b>597</b>	<b>743</b>
金融収益	147	42
金融費用	70	177
<b>税引前四半期利益</b>	<b>674</b>	<b>608</b>
法人所得税費用	298	216
<b>四半期利益</b>	<b>376</b>	<b>391</b>
<b>四半期利益の帰属：</b>		
親会社の所有者	271	292
非支配持分	104	99

(注) 基本的1株当たり四半期利益  
(親会社の所有者に帰属)

80円85銭

87円06銭

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

	2018年度 第2四半期累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	2019年度 第2四半期累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24	△ 911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 707	△ 1,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6	1,589
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	27	△ 68
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 662	△ 592
現金及び現金同等物の期首残高	2,992	2,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,330	2,240

# 会社の概要

## 概要

<b>社名</b>	三菱重工業株式会社	<b>資本金</b>	265,608百万円 (2019年9月30日現在)
<b>本社</b>	東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 〒100-8332 電話番号：03-6275-6200	<b>従業員数</b>	14,557名 連結：82,927名 (2019年9月30日現在)
<b>創立</b>	1884年7月7日	<b>ホームページ</b>	<a href="https://www.mhi.com/jp">https://www.mhi.com/jp</a>
<b>設立</b>	1950年1月11日		

## 役員

(2019年9月30日現在)

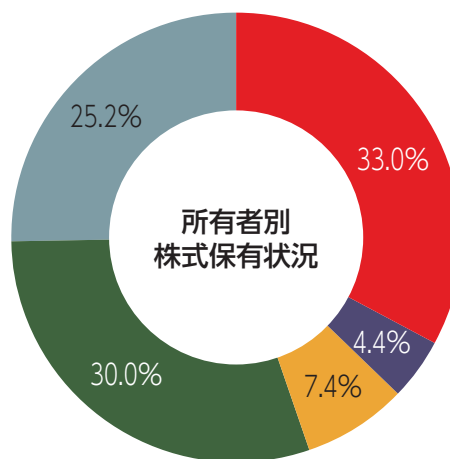
取締役会長	宮 永 俊 一
*取締役社長	泉 澤 清 次
*取締役副社長執行役員	小 口 正 範
*取締役常務執行役員	三 島 正 彦
取締役	篠 原 尚 之
取締役	小 林 健
取締役 常勤監査等委員	後 藤 敏 文
取締役 常勤監査等委員	加 藤 博 樹
取締役 監査等委員	クリスティーナ・ アメージャン
取締役 監査等委員	鶴 浦 博 夫
取締役 監査等委員	平 野 信 行

(\*印は、代表取締役)

## 株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	337,364,781株
株主数	237,677名

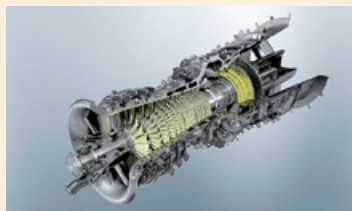


■ 金融機関  
■ 証券会社  
■ その他の法人  
■ 外国法人等  
■ 個人・団体等

# 最近の主なニュースとお知らせ

## 米国ジャクソン発電所向け 120万kW級GTCC発電設備を受注

三菱日立パワーシステムズ(株)は、米国イリノイ州のジャクソン発電所向けに、120万kW級の天然ガス焼きガスタービン・コンバインドサイクル (GTCC) 発電設備を受注しました。本設備は、主力最新機種M501JAC形ガスタービン2基を中核とするもので、運転開始は2022年4月を予定しています。運転開始後は、長期保守契約に基づく保守サービスを行うとともに、火力発電設備の運転を最適化する革新的なデジタルソリューションサービスMHPS-TOMONI®による支援も実施します。三菱重工グループは電力の安定供給に寄与するとともに、エネルギーの低炭素化を促進することで地球環境の保全に貢献していきます。



J形ガスタービン

## 中量産品事業の成長戦略を推進

三菱重工グループは、中量産品事業への成長投資を進めています。フォークリフトをはじめとする物流機器事業を手掛ける三菱ロジスネクスト(株)は、米国の連結子会社を通じて同国最大規模の物流機器販売店の全株式取得を7月1日に完了しました。北米市場における直販事業・サービス事業の強化を推進しお客様満足度の向上を目指すとともに、更なるシェアの拡大につなげます。冷熱製品を手掛ける三菱重工サーマルシステムズ(株)では、中国の連結子会社を通じて、同国最大の配電会社とエネルギーソリューションに関する技術コンサルティングを行う合弁会社 (JV) を設立、9月4日に設立の発表を行いました。世界各地で蓄積した地域冷暖房プラントのエンジニアリングの知見をJVを通じて提供し、中国における省エネプロジェクトの促進に貢献していきます。



合弁会社「網能菱重 (北京) 総合能源工程技术服务有限公司」設立セレモニー

## H-IIBロケット8号機 打上げ成功

三菱重工(株)は、種子島宇宙センターから2019年9月25日1時5分5秒に、宇宙ステーション補給機「こうのとり」8号機を搭載したH-IIBロケット8号機を打上げ、約15分後に「こうのとり」8号機を正常に分離しました。H-IIBロケットは10年前に1号機を打上げて以降、8回の打上げに全て成功しています。「こうのとり」8号機は全長約10メートル、直径約4.4メートルで、宇宙飛行士のための水や食料のほか、交換用バッテリーや大学が開発した人工衛星などおよそ5.3トンの物資を搭載し、9月28日に約400キロの高度で地球の周りを回っている国際宇宙ステーションに到着しました。当社はJAXAとの契約の下、信頼性を維持しつつ価格競争力を更に高めたH3ロケットの開発を進めることで、打上げ輸送サービスの受注拡大を図っていきます。



## ● 当社施設の紹介 ●

### 三菱みなとみらい技術館へのご招待

明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らませる場となることを願い開設された三菱みなとみらい技術館は、おかげさまで本年6月に開館25周年を迎えることができました。日常では触れる機会の少ない最先端の科学技術を参加型の展示や多彩なイベントプログラム、企画展とともに楽しみください。

**所在地:** 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 三菱重工横浜ビル内  
**アクセス:** みなとみらい線「みなとみらい」駅5分 徒歩3分  
JR根岸線/横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩8分

**開館時間:** 10:00~17:00 (入館は16:30まで)  
(注) 2019年10月1日~2020年2月29日の平日は10:00から16:30まで (入館は16:00まで)

**休館日:** 毎週火曜日 (火曜日が祝日の場合は翌日)、  
年末年始 (2019年12月29日(日)~2020年1月4日(土)) 及び  
特定休館日 (2020年1月22日(水)、2月12日(水)~23日(日))

**お問い合わせ:** 電話番号 045-200-7351

**ホームページ:** <https://www.mhi.com/minatomirai/>

臨時休館日、営業時間等についてはホームページ、お電話にてご確認ください。

25th Anniversary



### 三菱みなとみらい技術館ご招待券 見本

有効期限: 2020年3月31日 (お1人様1回)  
本券をご持参ください。(同伴者3名様まで有効)  
(本ご招待券で、有料体験プログラムをご利用いただくことはできません。)

# 工場見学会のご案内

第31回工場見学会を下記のとおり高砂製作所（兵庫県）で開催いたします。  
多くの皆様のご応募をお待ちしております。

## 見学会概要

### ・見学場所 高砂製作所（兵庫県）

高砂製作所は、1962年（昭和37年）に大容量発電機器を中心とする回転機械専門工場として操業を開始し、以降、発電用ガスタービン・蒸気タービンなどの製品を製造してきました。2014年には三菱重工業(株)と(株)日立製作所の火力発電システム事業を統合し、三菱日立パワーシステムズ(株)を新たに設立。世界最高クラスの熱効率を誇る高性能ガスタービンの製作を手掛け、2018年には100MW以上の大型ガスタービン市場で世界シェアNo.1を獲得しました。ここ高砂から送り出される製品は国内のみならず広く世界で高い評価を得ています。

・実施日時 2020年3月6日（金） 13：00～17：00（予定）

・対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）

・集合・解散 JR加古川駅（予定）

・参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）



## 応募要領

・応募方法 インターネットまたは郵便はがきによるご応募をお願いいたします。

### インターネットの場合

右記QRコードまたはURL (<https://www.mhi.com/jp/finance/individual/kojo/>) より応募フォームにアクセスの上、必要事項をご入力ください。

### 郵便はがきの場合

右記のとおり郵便はがきに必要事項をご記入の上、ご応募ください。

・締切日 2020年1月5日（日）（はがきの場合は当日消印有効）

・募集人数 80名様（同伴者を含む）

※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

また、複数ご応募いただいた場合は、応募方法にかかわらず1応募のみ有効といたします。

**厳正な抽選の上、当選発表につきましては、当選者へのご連絡（2月上旬発送予定）をもって代えさせていただきます。**

その際、当日の運営等詳細を併せてご連絡いたします。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

※ご見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程度工場内をお歩きいただくこともございますのでご了承ください。

※ご高齢の方のご参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。

また、未就学児の方のご参加はご遠慮いただいております。



郵便はがき

63円  
切手

1008332

三菱重工業(株)  
IR・SR室 SRグループ  
工場見学会係行

東京都千代田区丸の内  
三丁目2番3号

あて名面

●郵便番号

●住所

●氏名  
(ふりがなをご記入ください。)

●電話番号

●性別

●年齢

●同伴者の住所、氏名(ふりがな)  
電話番号、性別、年齢

裏面

## お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 IR・SR室 SRグループ

電話番号：03-6275-6200

8：30～17：30（土・日、祝日、当社休日を除く）

# 株主メモ

- 決算期……………3月31日
- 定時株主総会……………開催期 6月下旬
- 基準日……………定時株主総会議決権行使株主確定日  
3月31日  
期末配当金支払株主確定日  
3月31日  
中間配当金支払株主確定日  
9月30日  
その他の基準日  
上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議により  
あらかじめ公告して設定
- 単元株式数……………100株

- 公告方法……………電子公告  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。  
※電子公告掲載ウェブサイト  
<https://www.mhi.com/jp>
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
……………三菱UFJ信託銀行株式会社
- 上記連絡先……………東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先及び電話照会先)  
〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
電話番号 0120-232-711 (通話料無料)

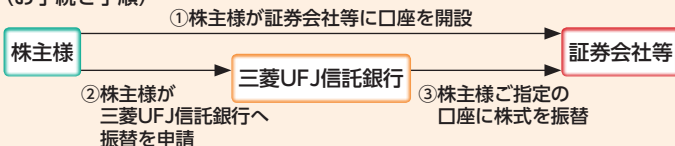
## 1. 株式に関する各種手続き

- (1) 株式に関する各種手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求等）は、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録されている株式（証券会社等の口座に振替手続きがお済みでない株式）に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先（郵便物送付先及び電話照会先）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いさせていただきます。

### 【ご注意】

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。特別口座から証券会社等の口座への振替のお手続きにつきましても、三菱UFJ信託銀行で承ります。

### （お手続き手順）



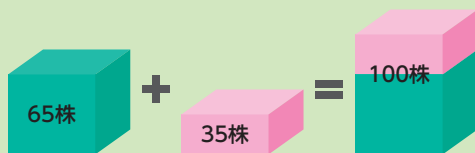
## 2. 単元未満（100株未満）株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式はそのままでは株式市場で売買できませんが、株主様は、当社に対して買取（株主様ご売却）あるいは買増し（株主様ご購入）をご請求いただけます。お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（上記1.（1）及び（2）ご参照）にお問い合わせください。なお、買取請求、買増請求の手数料は無料となっております。

①買取制度：ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

②買増制度：ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（100株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入（買増し）いただく制度です。

（具体例）株主様が現在65株をご所有の場合、当社を通じて35株をご購入いただき、合計100株とすることができます。



## 3. マイナンバーに関するご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きのため、株主様から、口座を開設されている証券会社等にお届いただく必要があります。

本お届け等に関するご不明点等は、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

ホームページ「IR情報」はこちらから、  
<https://www.mhi.com/jp/finance/>

<表紙>天然ガス焼きGTCC発電設備の建設工事を完了し運転を開始した、  
インドネシア共和国のタンジュン・プリオク火力発電所「Jawa-2プロジェクト」  
(総出力：88万kW)

三菱重工業株式会社

